

2019年度 千曲市立埴生中学校 グランドデザイン

学校長の願い

- 熟慮し、考えを持ち、対話的・創造的に学び合う生徒
- 逞しい心身を持ち、力強く歩む生徒
- 気持ちよい挨拶ができ、感謝の気持ちが表現できる生徒
- 地域に誇れる学校

学校目標

自主自律

おおとり

鵬のごとく、
大きな志で、未来へ羽ばたこう！



シンボルマーク「鵬」

2019年度 教育目標

「自ら考え、対話し、学び合える生徒の育成」

- 熟慮し自分の考えをまとめ発信できる生徒
- 対話し、創造的な学びを深める生徒

地域・保護者の願い

- 学力・体力の向上
- いじめ差別のない学校
- 自ら考え行動できる生徒

生徒の実態 (○良い点、●課題)

- 明るく素直である。○落ち着いて節度ある行動ができる。
- 授業や諸活動にまじめに取り組むことができる。
- 自己を表現し他者と関わる姿が見られつつある。
- 自分で深く考えた思いを発したり、それに対し他者が関わったりする姿はもう一步。

昨年度の学校評価より (○良い点、●課題解決の手だて)

- 言われたことに素直に応じる生徒が多く規範意識が高い。
- △小学校時代からのつながりで人間関係が安定している反面、固定化された不安定な人間関係を解消しにくい。
- 生徒自身が熟考して表現・発表したり、他者と積極的に関わったりする学習を目指す。

学力向上への取組

熟慮し、考えを発信できる授業の創造

(1) 授業改善の重点的取組

- ①生徒が発表し、対話し、創造的に学びあう授業展開
 - ・熟慮し考えを持ち、表現する場面の設定
 - ・グループで対話を深め、学び合う場の確保
- ②「家庭学習のすすめ」の活用
 - ・教科の特性にあった力が伸びる家庭学習
- ③学力調査の分析を活かした授業改善
 - ・活用力を育む指導と評価の研究・研修
- ④集中力と主体性のある学習姿勢作り
 - ・チャイムと同時に授業開始
 - ・不明点を残さない
 - ・フリータイム=積極的質問タイム
- ⑤学習困難生徒への指導・支援
 - ・全職員が教科会で指導・支援を確認

(2) 評価の検証

- ①生徒アンケートをもとに、より分かりやすい授業にするために改善を図る。
- ②提出ノートの内容を具体的に示し、単にページを埋めるだけのものではなく自分の力をつけるものになっているかどうかを見る。

(3) 指導力向上研修～自分改革～

- ①全校授業研究会
 - 特別な教科、道徳
- ②グループ内、教科内での授業研究会
 - ・主体的・対話的な学び合いの展開
 - ・全教育活動での人権教育の展開
 - ・協働的な学びでのICTの活用
 - ・グループ内、教科内で授業を公開する。
- ③学級経営・生徒支援の教師の学び合い
 - ・学級経営の小グループ研修

2019年度 重点目標

(キャッチフレーズ)

対話的創造的に学び、精一杯活動!

～熟慮し、考えを発信し、対話的・創造的に学び合い、精一杯活動する～

《重点活動》

1 対話的・創造的に学び

- 熟慮し考えを積極的に発信
- 対話して学び合う
- 気持ちよい挨拶・声かけ
- 創造的・独創的な活動

2 精一杯活動

- 精一杯の歌声
- 精一杯の清掃
- 精一杯の努力

日々の授業改善

ねらい	課題把握
学習課題把握	
めりはり	対話的創造的な活動
グループで対話 自己との対話・熟慮 深く学び合う活動	
みとどけ	
学びの共有 本時についた力の 評価	家庭学習課題

生徒の自主的活動

生徒会活動の目標

Starlight

～一人一人が輝こう～

部活動のねらい

- ・精一杯の努力
- ・あきらめない心
- ・感謝する心
- ・仲間との団結力
- ・誇れる母校

対話的・創造的な授業の構築

～効果的なICTの活用～

- ・生徒の主体的な学習を作るためのタブレット端末機器の活用
- ・協働的な学びを効果的に展開するためのICT活用
- ・地元の方や卒業生による進路講話

豊かな心を育くむ教育の充実

<無言清掃・気づき清掃>

- ・感謝の心で磨き込む清掃
- ・黙想で始まる清掃、師弟同行の清掃

<人権教育>

- ・各学級での人権目標設定
- ・部落差別問題の教材化と実践
- <キャリア教育>
- ・地域と繋がる3日間の職場体験
- ・自分の生き方を見つめるキャリア教育

<教科としての道徳>

- ・授業展開の工夫と資料の活用
- ・心を育む道徳教材の発掘

<福祉教育>

- ・人権教育につながる交流活動
- ・主体的なりサイクル活動

<地域に根ざした活動>

- ・市民プールの全校清掃
- ・地区行事への参加(地区運動会等)

千曲型コミュニティスクールの推進

～地域資源の活用と地域への貢献～

<おおとり支援隊の協力>

- ・環境支援部 ・読み聞かせ支援部
- ・家庭科支援部(ミシン、郷土料理等)
- ・学習支援部(数学、英語、書写等)
- ・生け花・手芸支援部
- ・部活動支援部
- ・ベルマーク支援部

<地域との連携>

- ・地域清掃、資源回収活動、挨拶運動
- ・市民プールボランティア清掃
- ・地域福祉施設との交流活動
- ・支援隊と職員との交流

子どもと向き合う時間の確保

- ・フリータイム(生徒と教師の質問タイム等の対話、生徒の自主的活動時間)
- ・相談・質問の時間の確保(相談の日の設定、テスト前の質問タイム活用等)
- ・会議の効率化(要点的な文書作成、早期の文書記布、教務会での事前審議等)
- ・時間外勤務を縮減(目標時間の設定、目標を明確にした会議の推進等)

小中一貫教育の推進

～小中一貫の良さを活かした教育～

- 共同の支援会議
- 新入生体験学習
- 英語学習の小中連携